

2月 例会 山行報告書 個人			報告者 山田、沼崎 亀山、金子	参加メンバー 江頭(CL)、天野(SL)、 亀山、町田、金子、津田、 沼崎、山田(明)、山田 (真)
山名 大日ヶ岳 ダイナランドスキー場	山行日 09年2月19日(金) ~21日(日)	報告日 3月10日		
山域 奥美濃	山行目的 雪上技術の向上	コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
 集会:10
 山行:1
 リーダー
 原紙:集
 会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

大日ヶ岳(1708.9m)

ダイナランドスキー場

2.5万分の1地図:石徹白[岐阜]

2月19日(金)雪(石徹白) 19:00 N1駐車場発 22:00 民宿おしたに着	2月21日(日)快晴 07:00 起床 07:30 朝食、オリンピック観戦 <毘沙門岳> 9:10 民宿 鷺谷 発 9:20-30 檜峠P 9:40 白山スキー場 9:45 スノーシュー着 10:40 コル(毘沙門岳登山口 の標識) 11:00-11:05 毘沙門岳頂上 11:42 白山スキー場 11:50 檜峠P 12:00 民宿 鷺谷 着 <和田山> 09:30 民宿 鷺谷 発 09:50 中居神社発 10:50-11:05 和田山頂上 11:30 白山中居神社着 11:40 白山中居神社発 11:50 民宿 鷺谷 着 12:00 餅つき大会 13:00 民宿おしたに発 15:30 刈谷着、解散
2月20日(土)晴 <大日ヶ岳> 07:00 起床 07:30 朝食 08:30 民宿おしたに発 09:45 スキー場駐車場発 10:35 リフト降り場発 11:10-11:20 一本 12:00-12:30 大日ヶ岳頂上 13:15 リフト降り場着、休憩 14:00 センターハウス着、合流 <ダイナランドスキー場> 10:00 リフト「αライナー」乗車、ス キー開始 11:25 休憩 11:45 スキー再開 13:30 スキー終了、昼食 14:50 駐車場発 15:50 民宿おしたに着 18:30 夕食、懇親会	

<2/19>
 亀山車、町田車の2台で石徹白に向かった。民宿「おしたに」に到着すると、雪が舞う中、去年も宿泊されていた常連さんにも出迎えられ、恒例の懇親会となった。

<2/20 大日ヶ岳>
 朝から天気が良いのでスキー場も混雑していた。リフトを降りると、町田さん・金子さんは山スキー、亀山さん・津田さんはスノーシュー、江頭さん・天野さん・山田明・真理子はわかんを装着、ゲレンデの端を少し歩き、やがて雪深い新雪道に入った。なだらかな登りだが雪に足をとられ、じわじわと汗が噴き出る。SLの天野さんはラッセルしながらどんどん登って行く。高鷲スノーパークが見えてきたころ、一本。休憩後は新しいスノーシューで参加の津田さんがトッパを行く。2番手の亀山さんが津田さんを追い立てたからか(?)スノーシューの二人はどんどん登っていきわかん隊は突き放された。ストックなしの山田明・真理子は不利であった(負け惜しみ)。急登を登りきると前大日ヶ岳に到着、そこから先は、一旦下って大日ヶ岳への登りが待っている。ふと前方を見ると、亀山さんが、はるか彼方で既に大日ヶ岳を登っているではないか。我々も先を急ぐが、これまでの好天気から一転、雪まじりの横風にあおられてペースが落ちる。山頂からは残念ながら白山を望むことはできなかったが、山田(真)は、2年ぶりの雪山登山&初わかんに一人感動していた。少し休憩した後、沼崎さんの待つスキー場へと急いだ。下りは、山スキー隊が早い。町田さんと金子さんはあつという間に姿を消した。前大日ヶ岳を越えたころ、また日が差して暖かくなった。雪とたわむれ半分滑りながら下ると、1時間ほどでスキー場に到着。町田さん・金子さん・江頭さんは沼崎さんと合流してゲレンデスキーへ。我々は少し休憩した後、ゲレンデの端を下りた。傾斜がきつい所では、スノーシューでは下り難いようだ。わかん隊は滑ったついでにシリセードで一気に下る。こんな時は、ソリがあれば楽しめたかも。スキー隊とセンターハウスで合流し、民宿おしたにへ向かった。夜はオリンピックのカーリング観戦で盛り上がった。(山田)

<2/20 ダイナランドスキー場>
 2年ぶりのスキーに心踊りながらリフトに乗車、降り場で鷲が岳の景色を楽しみ滑り始める。まずまずのゲレンデコンディションを楽しみながらダウンヒルコースを一気に滑り下りる。リフトの一人乗車用乗り場を利用できるためリフト待ちなしでの乗車を繰り返す。1時間半ほど滑ったところでのどが渇き休憩を取り、その後スキーを再開。13時をすぎたころ昼食をとるためリフト「βライナー」沿いのゲレンデからリフト「αライナー」沿いのゲレンデに移動しようとしたところで金子さんからの携帯を着信、リフト「αライナー」の降り場に帰ってきたとのこと。山頂連絡コースを急いで移動し、13時15分ぐらいに登山組みと合流、登山組みの内の山スキー組みと共に最後の1本を滑り下りた。わずか3時間半(当初の予定では5時間)ではあったが、13本を主に中級のロングコースを滑走したため満足のスキーであった。宿に一旦帰った後の温泉が非常に心地よかった。(沼崎)

リーダ
山岳部
10.03.08
江頭
 作成
山
10.03.10
田
 作成
沼
10.03.10
崎
 作成
亀
10.03.10
山
 作成
金
10.03.10
子

<2/21 毘沙門岳>

民宿鴛谷の朝食を美味しく頂く。今朝の石徹白は紺碧の空と豊富な積雪。さっと山行支度を済ませ、檜峠まで車を飛ばす。スノーシューをザックに押し込み舗装路を歩き出す。白山スキー場の脇から入山し、スキー場の左端を歩く。ゲレンデはスキーヤー・ボーダー・ファミリーで賑わっている。途中、スノーシューを装着、快適に歩く。上のリフト降り場より、いよいよ新雪の歩行となるが、10センチ程の新雪の下は硬い雪となっており、沈まない為非常に歩きやすい。私以外に登山者はおらず静寂な登山である。ジャンクションピークより一旦急斜面を下り、二つ目のコルの「毘沙門岳登山口」の標識を右手に見ながら先を急ぐ。急登にスノーシューのデッパ(出歯)を利かせ強引に登る。新雪も深くなり額より汗が流れ、心拍も上がる。高度を増し、周囲の山々が見えるようになる。尾根の東側は巨大なセツピが圧巻である。その辺りから傾斜が緩んでくるとまもなく、毘沙門岳の頂上に立つ。山頂は毘沙門岳と書かれた標柱の毘だけが雪面に顔を出していた。北方に白山から大日岳、その右手奥には檜穂ファミリーから乗鞍まで望める。西方には野伏岳・荒島岳、南方に奥美濃の山々、青空と白銀の山々、素晴らしい景色である。12時からのお楽しみ餅つきが待っている為、早々に山頂を後にし、転がるように駆け下りる。早春の毘沙門は、何度来ても、私を楽しませてくれる山である♪
(亀山)

<2/21 和田山>

朝食後、全員でバンクーバ五輪をテレビ観戦。行動する気配なし。「今日は天気もいいし、久しぶりに和田山まで行くか・・・」と皆に声を掛けるが返答もなし。ひとりで行くことにする。町田部長の高級車を借り、登山口の中居神社へ向かう。すでに先客がおり、駐車場には20台ほどの車が止まっていた。橋の向こうまで車で行って見たが駐車スペースが無く中居神社前まで戻り駐車する。昼の「餅つき」に間に合うよう早々に身支度(山スキー)を済ませ歩き出す。先行パーティーのトレースもあり快調に歩く。1時間ほどで和田山へ着く。誰もいない。前方に野伏岳、薙刀山、願教寺山など大パノラマを楽しむ。下りはシールを外し、バンクーバ五輪の大滑降?をイメージしながら林道を快適?に下った。今年も積雪も多く、山スキーには好条件であった。

【記:金子】

<2/21 石徹白散策>

オリンピックのジャンプでシモン・アマン(スイス)の2冠を見届けた後、白山信仰の中居神社へ参拝に出かけた。天気が良く、我々が歩いている道路以外は、一面銀世界。雪解け水も清らかで大変爽やかな散策路である。30分ほどで中居神社に到着した。神社の参道は雪が残っており、登山靴を履いていないとツルツル滑り、尻もちをつく人も。やっとのことで社殿に到着。願い事をするのも一苦労である。参拝後、江頭さんと山田明・真理子は登山靴を履いていたので、社殿裏の雪山に入り巨木と言われる浄安杉を目指した。トレースがあったので登ってみるも、浄安杉にたどり着けるのだろうかかと半信半疑の3人。小高い山を登りきると、目の前に見えてきた。見上げるような大きな杉の木である。周囲は10m以上あるらしい。2本に枝分かれしているが、まるで2本の巨木が根元でくっついているようにも見える。しばし感激に酔いしれた後、神社に戻り、他メンバーとも合流して11時過ぎに民宿に到着した。

民宿では、餅つき大会の準備で大忙し。金子さん・亀山さんも山から戻り、餅つき大会が始まった。体力のある男性が交代で餅をついた。大根おろし・きな粉・餡子の3種類のお餅とトン汁を大変おいしくいただいた。大将と女将さんは、来年金婚式だそうです。来年は大勢で押し掛けることになりそう。13時ごろ、民宿を出発、2時間半ほどで刈谷に着いた。(山田)

<リーダー所見>

吉田さんが急遽仕事で不参加となったが、おしたにさんを訪れると、奇しくもNさんご一行と一緒にあり、既に大将さんとも出来上がっておられた。我々も明日の行動計画を確認しつつ、大将さん奢りの一本義を遂に頂戴する...今年も鴛谷さんご夫妻のおいしい料理ともてなしをたくさん頂いた。1日目はリフト活用で物足りなく感じたメンバーもあったと思うが、それなりに積雪量もあって各人が大日岳を楽しめたと思う。折角の例会なので2日目の行動については事前に計画しておき、できるだけ多くのメンバーで行動すべき点反省であったと思う。

